

## 自己評価票

| 項 目                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |  |
|--------------------|--|---|--------------------------------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |  |   |                                |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |  |   |                                |  |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている       | 地域密着型サービスとしての役割を目指せるよう理念の再構築を考える。                                     | ○                              | 地域やご利用者のニーズ、事業所の状況の変化によって現状に合った理念に作り変えていくことも考えている。 |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                          | 日々ご利用者とスタッフが関る中で最も基本に置いている理念です。                                       |                                |  |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br><br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | 家族様が面会に来られた時に目に入るよう理念を掲げている。  |                                |  |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |  |   |                                |  |
| 4                  | ○隣近所とのつきあい<br><br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている  | 近くに民家は少ないが、散歩途中で出会った人にこちらから挨拶し今では農家の方から畑で咲いた花など（菊やコスモス）頂いたりできるようになった。 |                                |  |
| 5                  | ○地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている    | 施設の夏祭りなど開催時に地域住民の方にも案内しご理解得ている。                                       |                                |  |

| 項 目                          |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                          | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)         |
|------------------------------|---|--|------------------------|---|
| 6                            | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                | 運営推進会議に出席いただいている地域住民代表の方に地域の高齢者の状況お聞きする程度しか出ていない。        |                        |   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |  |                        |   |
| 7                            | ○評価の意義の理解と活用<br><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                         | 外部評価の意義や結果はグループホーム会議で報告し改善点など指摘項目については記録に残し改善計画経過を残していく。 | ○                      | 一部のスタッフだけでなく全員が意味を理解できるよう取り組んでいく。       |
| 8                            | ○運営推進会議を活かした取り組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている          | ご利用者やご家族にも参加いただき生の声を反映できるよう取り組んでいる。                      |                        |   |
| 9                            | ○市町村との連携<br><br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | 高槻市の担当者には運営推進会議に参加いただきており会議録も毎回渡し確認いただいている。              |                        |   |
| 10                           | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br><br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 現入居者の中に成年後見人制度利用されている。                                   | ○                      | 施設内研修や勉強会で人権擁護（特に認知症高齢者）に関する制度を取り上げていく。 |
| 11                           | ○虐待の防止の徹底<br><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | 毎年施設内研修の課題となっており、あってはならない事と認識し防止に努めている。                  |                        |   |

| 項 目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                                      | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|---|---------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |  |   |                                 |
| 12                     | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            | 契約書や重要事項説明書に基づき時間をかけ納得されるよう十分に説明行っている。                      |                                 |
| 13                     | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | 第三者委員が月1回訪問されご利用者に意見や不満要望など表情や会話の中から聞き出していただいている。           |                                 |
| 14                     | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>         | 毎月1回ひろの便りにて職員紹介及び各部署の取り組みなど報告行い、金銭管理は現金出納帳を送付し確認後返送いただいている。 |                                 |
| 15                     | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | グループホーム受付にご意見箱をおいている。面会の際声掛けしご意見ご要望など聞くように努めている。            |                                 |
| 16                     | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       | 会議のたびに広く意見を聞かれ何でも連絡、報告、相談を基本に置かれている。                        |                                 |
| 17                     | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | 場合によっては急な勤務変更もある事をスタッフが理解し協力し合っている。                         |                                 |

| 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                |
|--|---|------------------------|--|
| 18<br>○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | ユニットごとにスタッフを有る程度固定しグループホームならではの馴染み関係が出来ている。               |                        |  |
| <b>5. 人材の育成と支援</b>   |   |                        |  |
| 19<br>○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 人材育成のため年間研修計画（毎月1回）と勉強会毎週水曜日に実施し常勤、パート問わずチームの一員として参加している。 |                        |  |
| 20<br>○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 運営者は他の法人の同業者等との交流する機会があり、具体的な方針や姿勢を常に示している。               | ○                      | 日々のサービスや職員に育成に役立つよう自らネットワークなど活用しサービスの向上に繋げていく。 |
| 21<br>○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                       | 運営者は常に職員に対して声掛けし会議の後にも相談できるような時間を作っていたらいい。                |                        |  |
| 22<br>○向上心を持って働き続けるための取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                           | 職員がスキルアップの為国家試験など資格取得するよう指導され、受けやすいよう勤務など協力的に調整していただいている。 |                        |  |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|---------------------------------|
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>      |   |   |                                 |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |   |   |                                 |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                   | 先ず事業所を見学いただくことから始まり短時間でも一緒に過ごし、入所前にはデイサービスやショートステイなどご利用いただき徐徐になじみの関係作りを行っている。 |                                 |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                        | 相談から利用に至るまでの経緯を大切にし双方が納得いくまでよく話し合うよう努めている。                                    |                                 |
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                | 複合型施設であり、今必要とされているその方の状況にあった支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。                      |                                 |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 施設や職員と馴染んで頂けるよう他のサービスを利用いただきながら安定的に移行している。                                    |                                 |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |   |   |                                 |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 家族の様に接し喜怒哀楽を共感し理解している。  |                                 |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 28  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 家族の思いもよく理解し同じ気持ちで接していくよう日頃から話し合っている。                          |                        |                                 |
| 29  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 少なくとも月1回以上の面会をお願いし、家族との関係を理解するためコミュニケーションをとり相互に情報交換を行う努力している。 |                        |                                 |
| 30  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 個人情報の保護もあり家族の希望を聞きながら家族以外の面会者にも気を配り対応している。                    |                        |                                 |
| 31  | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 性格の合う合わないがあるので人間関係がスムーズに行くよう席替えなど行い臨機応変に調整している。               |                        |                                 |
| 32  | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 縁を大切にしたい取り組みを実施しており、利用者が終了しても又世代交代で利用されるケースも多い。               |                        |                                 |

| 項目                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                                  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |  |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------|--|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |   |                                 |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |   |                                 |  |
| 33                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日々の会話の中でその人が望む生活、今したいことなどを伺いながらサービスプランに組み込めるよう努めている。    | ○                               |  |
| 34                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 満足度を意識しながら日々の行動や表情からも汲み取っている。                           |                                 |  |
| 35                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 側面からの見守り中心の援助を行い自立出来ている事を大切にしている。                       |                                 |  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |   |                                 |  |
| 36                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 本人やご家族のご意向を伺いできるだけ希望に沿える様計画書に反映させている。                   |                                 |  |
| 37                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月毎にサービス計画に見直しを行い評価は毎月カンファレンス実施し新たな課題があればその都度見直し行っている。 |                                 |  |

| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                    | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                |
|------------------------------------|--|--|------------------------|--|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 個別の記録が出来ていない事もあり、今後は気付きやちょっとした日々の変化も記録に残すよう指導する。   | ○                      | 経過記録が無く併設クリニックに受診したケースがあり前後の記載きっちりおこなう。        |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |  |                        |  |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | 本人や家族の状況に応じその時に合ったサービスが提供できるように取り組んでいる。            |                        |  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |  |                        |  |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 地域密着型サービスとして地域住民や民生委員、自治会長などにも運営推進会議に参加いただき協力得ている。 |                        |  |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 今の所なし。   |                        |  |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 今の所なし。   | ○                      | 家族の意向があれば地域包括センターの支援を受け地域の社会資源と結びつける情報を活用していく。 |



| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)     |
|-----|--|------------------------|-------------------------------------|
| 43  | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>  |                        |                                     |
| 44  | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  |                        |                                     |
| 45  | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   |                        |                                     |
| 46  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      |                        |                                     |
| 47  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   |                        |                                     |
| 48  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | ○                      | <p>重度化した場合における対応に付いての指針は作成している。</p> |

| 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                                   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|--|---------------------------------|
| 49  | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | 本人の希望や身体状況の変化により退所時の相談は十分行い納得した上で住み替えによるダメージを防ぐよう努めている。  |                                 |
| <p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> |   |  |                                 |
| 50  | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                                       | トイレの誘導時も「お部屋に行きましょう。」とさりげない声掛け行い個人のプライバシーを損ねないよう気をつけている。 |                                 |
| 51  | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>                   | どのようなことが本人にとって楽しいのか？どうしたいのかを日頃の会話の中から汲み取り反映できるように支援している。 |                                 |
| 52  | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>                        | 個人の生活習慣や、ペースを大切にし、朝食を遅れていただく人もおりライフスタイルに合わせている。          |                                 |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>  |   |  |                                 |
| 53  | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                                    | 月1回は美容室にて好みのスタイルにカット、ブローなど行う支援行いおしゃれを楽しまれている。            |                                 |

| 項 目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                               |
|-------------------------------|---|------------------------|---|
| 54                            | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | ○                      | 職員の休憩時間の問題もあり、交代で見守り、食事時の状態を観察しながらバックミュージックをかけ食事を楽しんでいただいている。 |
| 55                            | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している           |                        |   |
| 56                            | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       |                        |   |
| 57                            | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   |                        |   |
| 58                            | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    |                        |   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |   |                        |   |
| 59                            | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている |                        | 得意なこと、昔取ったきねづか等を発揮して頂く場面を設けている。                               |

| 項 目             |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                     | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                            |
|-----------------|---|---|------------------------|--|
| 60              | ○お金の所持や使うことの支援<br><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している         | お金の管理が出来るご利用者はご自分でお金を所持されている。                                       | ○                      | 自分の責任においてお金の所持は可能。   |
| 61              | ○日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                           | 個別外出での買い物企画している。  | ○                      | 屋内だけで過ごすストレスが溜まりやすくなる為、利用者と職員と一緒に短時間でも戸外で過ごせる機会を作る取り組みを行う。 |
| 62              | ○普段行けない場所への外出支援<br><br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | 初詣や花見秋の行楽などは行事として計画しているが、個々人が元気なうちに行きたいところをお聞きし可能であればいけるよう援助していきたい。 | ○                      | 映画館や観劇、レストランなど要望に沿っていく。                                    |
| 63              | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 各部屋に本人用の直通電話が設置されており自由に外線で家族等と電話のやり取りが出来るようになっている。                  |                        |  |
| 64              | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br><br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 面会時間は自由であり、来られたらお茶を出しもてなしている。                                       |                        |  |
| (4) 安心と安全を支える支援 |   |   |                        |  |
| 65              | ○身体拘束をしないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 施設内研修行っており、あらゆる身体拘束廃止している。  |                        |  |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                      |
|-----|---|------------------------|--|
| 66  | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>     |                        |  |
| 67  | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              |                        |  |
| 68  | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        |                        |  |
| 69  | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     | ○                      | 事故が起こらないよう予防が大切であり、予測される事は未然に防止できるような心配りを全員が身に付けていく。 |
| 70  | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>               |                        |  |
| 71  | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> |                        |  |

| 項 目                        |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 72                         | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | 自由に行動していただいております、転倒などのリスクは家族に日頃から説明行いご理解頂いている。  |                        |                                 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |   |   |                        |                                 |
| 73                         | ○体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている          | 業務日誌と個人ファイルに日々の変化や気付きがあれば記入し申し送りの徹底している。スタッフ日報にも伝達事項記載している。                                 |                        |                                 |
| 74                         | ○服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている      | 毎月個人別に薬局より定期約、臨時薬についての説明書の交付受けており、名前、効能、効果、注意事項(副作用他飲み合わせなど)よく理解するよう努めている。                  |                        |                                 |
| 75                         | ○便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる        | 毎日排泄チェック表をつけ排便3日目にナース連絡行いその人に合った方法で緩下剤等の処置受けている。日頃よりタジオ体操、リハビリ体操、散歩など行いまた野菜、水分を多く摂る様心掛けている。 |                        |                                 |
| 76                         | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                  | 食後の口腔ケアは誤嚥や感染症の予防ともなり毎食後行っている。  | ○                      |                                 |
| 77                         | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている     | 水分や食事摂取量のチェック表をつけておりそれに基づきコンピューターに入力しデータ管理している。   |                        |                                 |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 78                             | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | 毎日の清掃は隅々まで行い拭き掃除後も次亜塩素酸の薄め液で乾拭きしている。湿度計を利用し常に50パーセント以上を保ち乾燥を防いでいる。加湿器と霧吹き使用している。 | ○                      |                                 |
| 79                             | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 厨房と連結しており食事は厨房で作り、盛り付けだけ行っている。台所は清潔にしている。  |                        |                                 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |  |                        |                                 |
| <b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>         |   |  |                        |                                 |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関は一般家庭のような雰囲気作りでチャイム押ししていただき訪れやすくなっている。   |                        |                                 |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 明るい配色でオープンスペースも多く椅子や手すりが完備している。  |                        |                                 |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 畳みコーナーや食事のテーブルなど配置してあり自由に移動いただいている。  |                        |                                 |

| 項 目                     |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 83                      | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br>のものを活かして、本人が居心地よく過<br>ごせるような工夫をしている | なじみの家具を持ち込まれ居心地よく過<br>ごして<br>いただいている。  |                        |                                 |
| 84                      | ○換気・空調の配慮<br><br>気になるにおいや空気のだよみがないよ<br>う換気に努め、温度調節は、外気温と大き<br>な差がないよう配慮し、利用者の状況に<br>応じてこまめに行っている    | 冬季は暖房で乾燥しやすく加湿器設置し湿度計で<br>50パーセント目標に霧吹きなどで湿度を保つよ<br>うにしている。                          |                        |                                 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |   |  |                        |                                 |
| 85                      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活<br>かして、安全かつできるだけ自立した生活<br>が送れるように工夫している                 | トイレは自動水洗、洗面所の蛇口も手を触れず<br>に自動でお湯が出るようになっている。手<br>すりが多く設備されている。                        |                        |                                 |
| 86                      | ○わかる力を活かした環境づくり<br><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混<br>乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ<br>うに工夫している                           | 一人ひとりのわかる力を活かして<br>できることに対して<br>手や口だしせず見守り中心に<br>している。                               |                        |                                 |
| 87                      | ○建物の外周りや空間の活用<br><br>建物の外周りやベランダを利用者が<br>楽しんだり、活動できるように活<br>かしている                                   | ベランダに出ることはできないが、玄関先に花<br>壇、ダイルームからは中庭(池、植木、お花)<br>が楽しめるようになっている。野鳥が水浴び<br>に来る事も多くある。 |                        |                                 |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| V. サービスの成果に関する項目 |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
|------------------|--|---|
| 項 目              |  |   |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○ ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                  |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどできていない    |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ○ ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
|-----|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない           |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている  | ○ ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の2/3くらいが<br>③職員の1/3くらいが<br>④ほとんどいない       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○ ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の2/3くらいが<br>③家族等の1/3くらいが<br>④ほとんどできていない |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設当初からご入居いただいているご利用者の精神的、身体的機能の低下が著しい年でした。マンツーマンの対応の必要性が高くなったため個別の対応を明確にし事故の無い様サービス計画を作成しスタッフも入れ替えが有る中援助計画に基づき努めました。毎日笑い声が絶えない家族で向き合っているような関係を目標にしています。①敬意を持って接します。②安心できるケアを提供します。③声掛け、傾聴します。の理念を基本に地域の高齢者援助事業所として貢献していきます。